

よみがえる！中井の郷土資料 その5

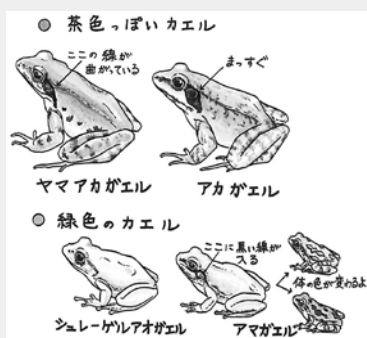
なかいの蛙

生涯学習センターの建設に伴う、郷土資料館の移転作業が完了しました。改めて収蔵資料を見回してみると、民俗資料や土器などの考古資料、石碑の拓本、江戸から昭和初期の古文書など、多岐にわたる人文資料が保管されていました。私の専門である自然資料は、録音内容に「中井の蛙」と記された1本の録音テープのみです。

再生機材がないため、その音を直接聞くことはできません。しかし、どんなカエルの声が録音されているのか、10年前に実施された中井町生物多様性調査の結果を参考にしてみます。



テープスピード 9.5cm/sec
録音機 STS-IS-SONY
規格 B.T.S



ば、低音で渋い響きのものも存在します。シュレーゲルアオガエルの声はしばしば美しいと評され、初春の水田では「コロコロッ」と甲高く鳴きます。一方、カジカガエルは川辺で「フイー、フイー…」と高らかに鳴き、その声のメロディーが鹿の鳴き声に似ているため「河鹿蛙」の名が付けられました。トウキョウダルマガエルもまた、美しい声を持つことで知られています。

再生機材がないため、その音を直接聞くことはできません。しかし、どんなカエルの声が録音されているのか、10年前に実施された中井町生物多様性調査の結果を参考にしてみます。この調査によると、中井町には7種のカエルが生息しており、ニホンアマガエルがもっとも普通なこと、トウキョウダルマガエルは絶滅の危機に瀕していること、そしてモリアオガエルが他地域から持ち込まれた国内外来種であることが明らかになりました。

「カエルの声」と一言で表現しても、その種類ごとに音量やメロディーが異なります。鳥のように美しい声もある

もしこのテープにトウキョウダルマガエルの声が収録されていれば、過去の生息状況を推測する貴重な手がかりとなるでしょう。カジカガエルの声であれば、記録がされぬまま絶滅してしまった可能性を示唆します。実は十数年前、雑色の中村川でそのような声を耳にしたことがあります。確証を得られず記録に残せませんでした。そのモヤモヤを解消できるかもしれないと思うと、何とかしてテープを再生したいという思いが募ります。

文：槐 真史（中井町生涯学習参与）
絵：©Supica, 2025

中井町情報公開制度の利用状況

町が保有する公文書を、皆さんの請求に応じて公開する情報公開制度の令和6年度における利用状況をお知らせします。

●公開請求件数 22件

●公開状況

公開したもの	8件
公文書の一部に個人名などが記載されていたため、その部分を除いて公開したもの	11件
非公開としたもの	0件
町が保有していないため不存在としたもの	3件

また、町が保有する自己を本人とする個人情報の開示などを求める保有個人情報開示請求等制度の令和6年度における利用状況については、開示などの請求がありませんでした。今後、より開かれた町政を推進するため、本制度をご利用ください。

制度の利用方法

公開請求の手続きは、役場2階の総務課情報公開窓口において、備え付けの公文書公開請求書に必要とする公文書名などを記入し提出していただきます。

請求後14日以内に公開可能かどうかご連絡します。公開決定となった場合は、情報公開窓口において公文書の閲覧または写しを受け取ることができます。

問合せ

総務課 ☎(81)1111